

平成 30 年度 とやま型学校評価（アクションプラン）結果報告

プラン 1 読書活動の推進

具体の数値目標	目標達成率			評価
	1 学期末	2 学期末	年度末	
目標読書冊数を達成した子供 80%以上を目指す。 低学年 100 冊 中学年 50 冊 高学年 25 冊	85%	82%	87%	A

* 「1 学期は低学年 40 冊」のように、学期ごとの目標を決めて取り組んだ。

本年度は、クラスごとの図書室の本の貸出数を掲示する、衝立を立てて暖房効果を高めて隣接するコンピュータ室の一部を読書コーナーとして開放する、振興会会計より子供たちが好きな映画やアニメをノベライズした本を購入するといった取組を行いました。また、市子ども図書館からの本の巡回もスタートしました。しかし、登校時刻を 5 分遅らせたことや、朝活動で外国語活動時数増加分の補充学習を行ったことで、図書室の本の貸出し数は減っています。国語科における並行読書等、授業での活用を働きかけていきたいと思ひます。

プラン 2 あいさつの推進

具体の数値目標	目標達成率			評価
	1 学期末	2 学期末	年度末	
登下校時や家庭において自分からあいさつできる子供、あいさつを返せる子供が 80%以上を目指す。	85%	90%	88%	A

* あいさつ運動期間中の 5 日間、毎日の自分のあいさつについて（0 点）（1 点）（2 点）の 3 段階で自己評価した。最高で 10 点となり、8 点以上の子供を目標達成者とした。

児童会の子供が、給食時、毎日、あいさつをがんばっていた子供のカードにスタンプを押して回る、二つの学年がペアになり、校内を回ってあいさつをする日を決めるなど、活動を工夫しました。3 学期は、身に付ける服が増えて朝の準備に時間がかかる、学年の取組に差が出始めるなどしたため、少しポイントが下がりましたが、毎日のチェック、クラス全員でのあいさつは、特に低学年の子供たちの意欲を高め、学校全体に明るいあいさつが響くようになりました。安全パトロール隊、学校評議員会においても、地域でのあいさつが向上しているとのことをご意見をいただきました。児童会からの呼びかけだけでなく、各学級での取組を充実させたいと思ひます。

プラン 3 体力づくりの推進

具体の数値目標	目標達成率			評価
	1 学期末	2 学期末	年度末	
「チャレンジ 3015」を達成する子供 80%以上を目指す。	56%	90%	100%	A

* 「1 学期は 1500 / 3015 ポイント」のように、学期ごとの目標を決めて取り組んだ。

ランランタイム(週 3 回、10 分程度の業間運動)の活動、外遊びの奨励等により、スポーツテストの反復横とび、立ち幅とび、握力、長座体前屈等の項目で、県平均を上回りました。また、苦手種目については、ランランタイムに「ラダー運動」を取り入れる、全校ボール投げ大会を企画するなどして能力の向上を目指しました。今後、新しい種目の運動を取り入れ、さらなる体力向上を目指したいと思ひます。